# 「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップの策定」
## － ロードマップ2017 －

2017年7月28日

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1388523.htm

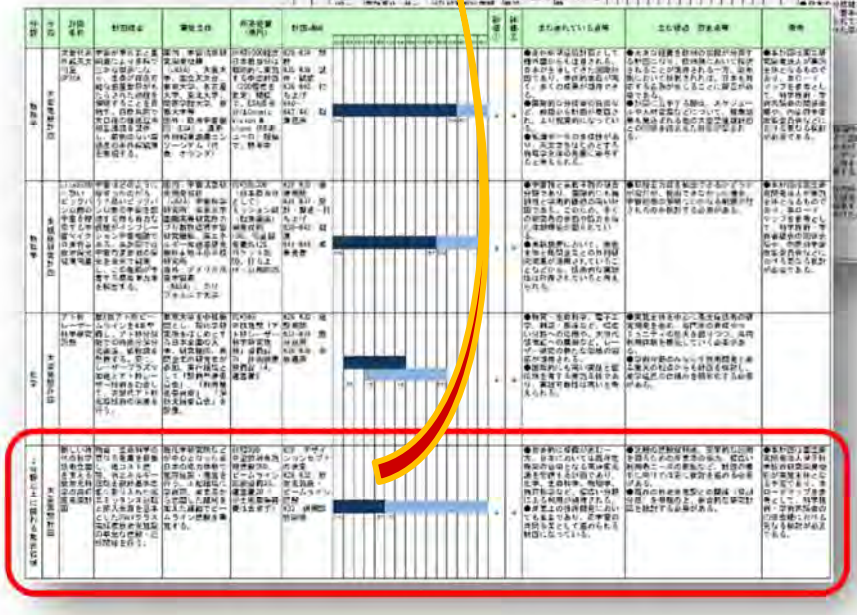
| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2分野以上に関わる融合領域 | 大型施設計画 | 新しい時代の科学技術立国を支える放射光科学の高輝度光源計画 | 物質・生命科学の更なる発展を目指し、低コスト建設、省エネルギー運転を設計基本思想に取り入れた低エミッタンス蓄積リングと挿入光源を基本とした3GeVクラス高輝度放射光施設の早急な建設・運転開始を行う。 | 理化学研究所などが中心となった全日本の協力体制で施設建設・運営を行う。上記組織に学術界、産業界から志願した組織を加えた組織でビームライン建設を実施する。 | 総額300<br>中型放射光施設建設250、<br>ビームライン施設整備30、<br>運営費20（<br>※土地取得経費は含まず） | H28：デザインコンセプトの決定<br>H29-H32：放射光施設・ビームライン建設<br>H33：供用試験開始 | H28 H32 H33 a a | ●世界的に整備が進む一方、日本においては既存施設間の谷間となる高輝度光源を整備する計画であり、化学、生命科学、物理学、物質科学など、幅広い分野による利用が期待される。<br>●産業上の技術開発においても重要であり、産学官の共同事業として進められる計画になっている。 | ●施設の建設候補地、安定的な運用を図るための産業界の協力、幅広い利用者ニーズの把握など、計画の着手に向けては更に検討を進める必要がある。<br>●既存の放射光施設との関係（役割分担）を整理の上、総合的な研究計画を検討する必要がある。 | ●本計画は国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構が実施主体となる予定であり、本ロードマップを参考として、科学技術・学術審議会の関係会議における更なる検討が必要である。 |

学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想
ロードマップの策定

－ ロードマップ2017 －

平成２９年７月２８日

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会
学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会

P15

P16